

# 「短期交換留学生向けインターンシップコース における企業体験者の講話とPBL(課題発見解決型学習): 学生の自主的な学び」

＜留学生教育学会・短期留学プログラム分科会第5回会合＞  
2011年3月4日 名古屋大学 東山キャンパス  
討議テーマ:「短期留学プログラムと海外留学」

恒松直美 (つねまつなおみ)

広島大学 国際センター・国際教育部門

Dr. Naomi Tsunematsu

International Center: International Education Division

＜連絡先＞

TEL/FAX 082 424 6279

東広島市鏡山1-1-1

Email: [ntsunema@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ntsunema@hiroshima-u.ac.jp)

広島大学短期交換留学プログラム

Hiroshima University Study Abroad (HUSA) Program

研究HP <http://home.hiroshima-u.ac.jp/ntsunema>

# 広島大学短期交換留学プログラム HUSAインターンシップ

INTERNSHIP  
*for*  
INTERNATIONAL EXCHANGE STUDENTS



広島大学短期交換留学プログラム  
Hiroshima University Study Abroad Program (HUSA)

# HUSA Internship I & II

## 1) 「HUSAインターンシップⅠ：キャリア理論と実践」

### [準備コース]

★日本語レベル： 中級・上級（レベル3,4,5）

★研修・自己発見・正規学生との協同学習(PBL)

## 2) 「HUSAインターンシップⅡ：実習」

### [実践]

★日本語レベル：上級（原則レベル5）

★企業に2週間派遣（時期は通年で企業と調整）

\* PBL = Problem-based Learning 課題発見解決型学習

\* HUSA Program = Hiroshima University Study Abroad (HUSA) Program

# 「HUSAインターンシップⅠ：キャリア理論と実践」

## 2010年度 春学期 新規に開講

＜日本語中級・上級＞

\*\*2009年度春学期「HUSAインターンシップ」で**企業の方の講話**を実施し大変好評

### ＜講話に基づいた自主的学びと協同学習＞

\* 講話参加者：HUSA留学生・正規学生・他の留学生

- 1) **企業体験者の講話** : 全学開講  
2010年度春学期(3回)  
2010年度秋学期(3回)  
\* 講話参加についてアンケート
- 2) 講話の次週：**企業体験者の講話に基づいた協同学習**  
交換留学生＋他の正規学生(希望者)  
PBL (Problem-based Learning) 教育法を使用  
\* PBL学習への参加についてアンケート

## HUSA Internship I : Career Theory & Practice

「広島大学短期交換留学プログラム  
インターンシップ I : キャリア理論と実践」 交換留学生向けコース

### 公開セミナー Open Seminar

## 企業体験者の講話 第 2 回

### 題目:「人は仕事を通して成長する」

講師: 新田 泰生 (にった やすお) 氏

日時: 11月12日(金) 12:50-2:20

場所: 教育 K308 言語: 日本語 (Japanese)

定員: 20名 (定員になり次第締め切りますのでご了承下さい)

Lecture Series by Entrepreneurs [No.2]

Title: *A person grows through profession*

Date : Nov.12 (Fri) 12:50- 2:20 Place: Education K308

*\* This lecture is open for any student*

★講義に興味のある学生は誰でも参加可能です

★引き続き、11月19日(金:12:50-2:20) 講義について留学生との  
共同学習セミナー(PBL 教育法使用)を開催します(英語及び日本語を使用)

★(1)11月12日 講義 (2)11月19日 共同セミナー

参加希望者をご連絡下さい

★(1)+(2), または(1)のみの参加も可



#### < 講師紹介・講話内容 Instructor's Career >

- 20年にわたり、多くの企業の人材育成支援に携わり、企業人の成長をみてきた人材育成のエキスパート
- どんな人材が成長するのか、どんな場面で人は成長できるのか?
- 「良い企業を見つける方法とは?」「働くための心構えとは?」

#### < 問い合わせ・申し込み Contact Address >

担当教員: 恒松直美 Dr. Naomi Tsunematsu

広島大学国際センター国際教育部門(准教授)

TEL/FAX 082 424 6279 Email: [ntsunema@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ntsunema@hiroshima-u.ac.jp)



# 企業体験者の講話:全学開講 Open Seminar

## <2010年度春学期 3回の講話>

「HUSAインターンシップⅠ:キャリア理論と実践」 HUSA留学生:8人受講

- 第1回 「企業人の働くモチベーションとは？」

新田泰生氏 (リクルートリソリューションズ勤務経験)

参加者:HUSA留学生8人・日本人学生15人 (合計23人)

- 第2回 「持続成長する企業とは？」

小林智彦氏 (リクルートリソリューションズ勤務経験・起業)

参加者:HUSA留学生7人・日本人学生8人 (合計15人)

- 第3回 「企業と人材～考え方の大切さ～」

山根英幸氏 (マツダ(株)勤務経験)

参加者:HUSA留学生9人・日本人学生5人 (合計13人)

# 企業体験者の講話:全学開講 Open Seminar ＜2010年度秋学期 3回の講話 + PBL共同学習＞

「HUSAインターンシップⅠ:キャリア理論と実践」 HUSA留学生:14人受講

- 第1回 「社会の中で働くための就職活動」

齊藤稔夫氏(広島大学・大学院生)

参加者:HUSA留学生14人・日本人学生5人・その他留学生1人(合計20人)

- 第2回 「人は仕事を通して成長する」

新田泰生氏(リクルートリソリューションズ勤務経験)

参加者:HUSA留学生14人・日本人学生9人(合計23人)

- 第3回 「逆転の発想で国内旅行を活性化する - ペットツーリズム - 」

中村忠司氏(JTBコミュニケーションズ)

参加者:HUSA留学生13人・日本人学生7人・その他留学生1人(合計21人)

# 企業体験者の講話に対する 学生の意識・反応

講話参加者のアンケート評価（\*後ほど発表）

回答者：HUSA留学生・他の正規学生

- 1) 講話の感想 : 率直な意見
- 2) 招聘希望 : 招聘して欲しい講師
- 3) 大学への要望 : 大学の企画への要望

\* 全学開講: 日本人学生

留学生の授業に参加するには**勇気**が必要  
留学生に慣れない**学生への配慮**が必要

# PBL学習法の意義

## <4大医学教育技法の一つ>

### 1) 問題発見能力

### 2) 自己主導型学習・生涯学習への道筋

- \* 知識伝授の詰め込み教育で得た知識は、将来役に立たない  
(能動学習の重要性)
- \* 自ら進んで積極的に行う方がより満足度が大きい
- \* 学習への動機づけ、チャレンジ

### 3) 情報収集のスキル

### 4) 科目を統合した知識の習得・多角的アプローチ

- \* 知識が統合される形で学習(講義の一方的に伝えられる学科別の独立した知識と異なる)

### 5) 対人関係・コミュニケーション能力・協調性の習得

- \* 講義よりグループ討論の方が学生の問題解決能力を向上  
(協同学習・競争学習・個別学習を比較)

### 6) プレゼンテーション技能の習得

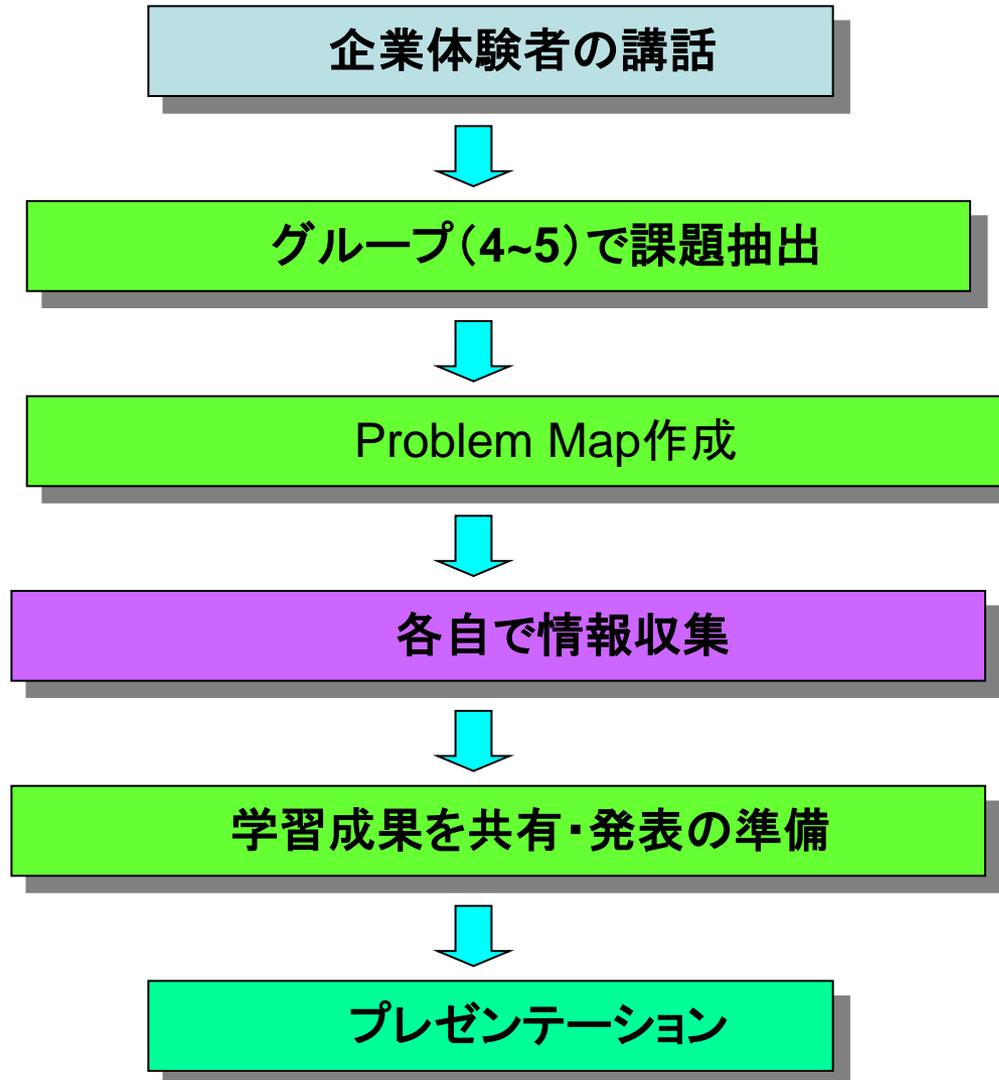
### 7) 「事例」設定により、将来の状況に直結した学習

- \* 知識は何かに関連づけた方が記憶しやすく思い出しやすい

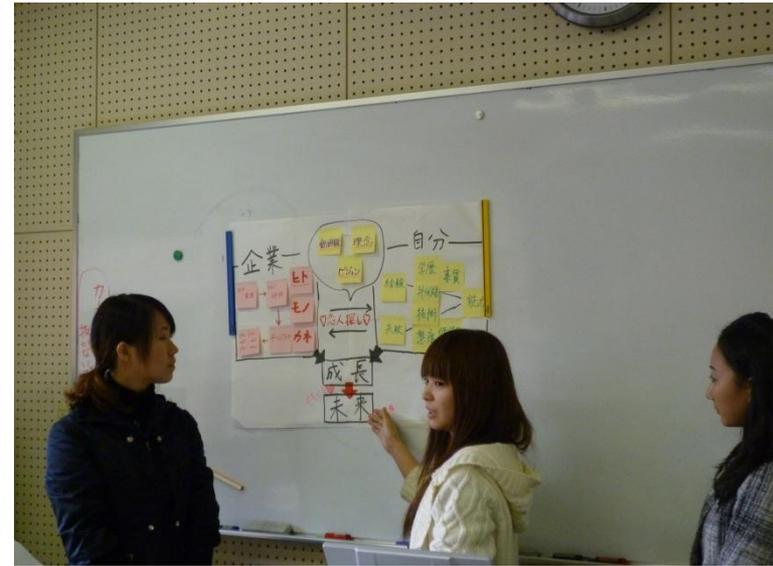
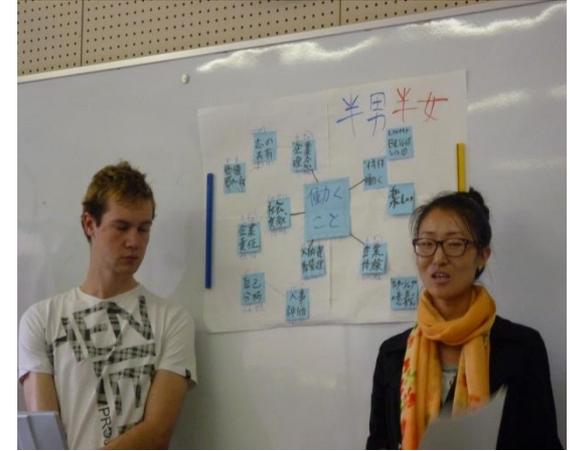
<参考文献>

「実践PBLチュートリアルガイド」編著 吉田一郎・大西弘高 南山堂 2004

# PBL学習の流れ



# PBL 学習風景 & プレゼンテーション



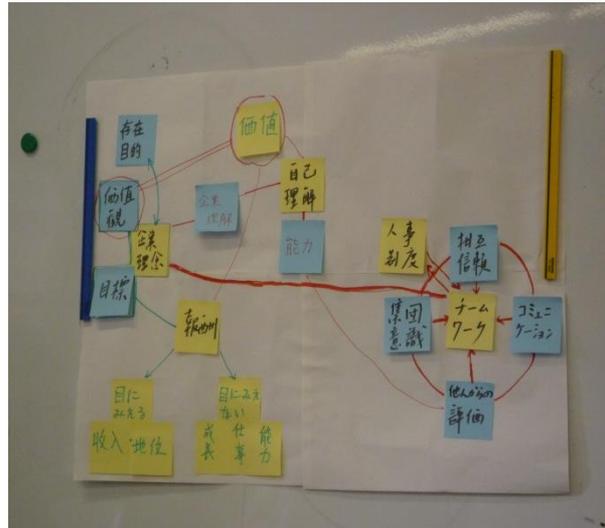
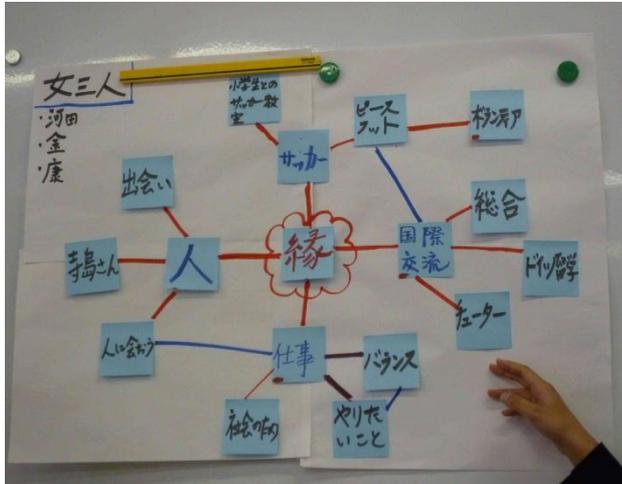
# Problem Map 作成

<次ページのMap: 以下の講話について>

- **第1回「社会の中で働くための就職活動」** (上2枚)  
齊藤稔夫氏(広島大学・大学院生)
- **第2回「人は仕事を通して成長する」** (下3枚)  
新田泰生氏(リクルートリソリューションズ勤務経験)

「HUSAインターンシップⅠ: キャリア理論と実践」(2010年度秋学期)

# Problem-Map



# 共同学習での考察の成果

＜次ページのスライド: 以下の講話について＞

- **議論**の成果 (Presentationの一部)

＜例＞

**第2回「人は仕事を通して成長する」**

新田泰生氏 (リクルートリソリューションズ勤務経験)

「HUSAインターンシップI: キャリア理論と実践」(2010年度秋学期)

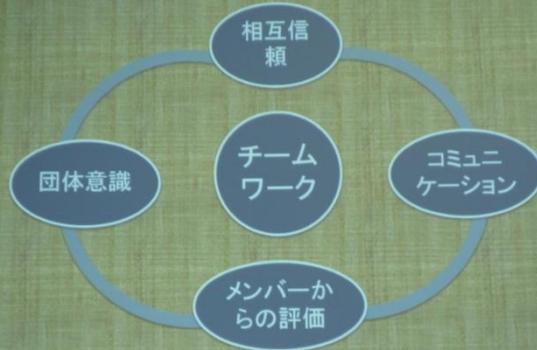
# 多角的考察・関連付け

## 企業理念

### 一.概念

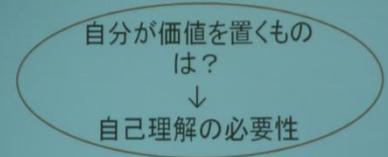
- 企業理念とは、企業や組織の目的や存在意義について、短とめたものである。
- "理"とは、「整える、筋道をつける」こと。
- "念"とは「心から願う、心中深く考える」こと。
- 英語で表すと、「Mission statement」、「Corporate philosophy」など。
- 企業理念は、組織および社員のとるべき行動を規定し(行動規範)、また、組織の目的を決定する。さらに、企業理念に経営者はビジョンを示し、経営の意志決定・判断を実行する。
- (<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%81%E6%A5%AD%E7%90%86%E5%BF%B5>)

## チームワークに関わるキーワード



## 「働く価値とは何か？」

- 自分と企業の価値観の一致



## 人事評価制度

### 良い人事制度の条件

- ★シンプルな制度
- ★業績 = 幸せに繋がる制度

- ★社員間の共有
- ★フィードバックができる
- ★運用性

### 製靴工場方人事制度の特徴

- ★明確性
- ★フィードバック

- ★仕組みのシンプルさ
- ★評価内容と対価との連動
- ★業績の評価への反映

### 評価基準と評価項目

期待成果と期待行動	・期待役割の二つの種類
知識・技術	・成果を出し、修行レベルの維持
勤務態度	・規律遵守・協調性の必要性

## 人的資源 (管理)

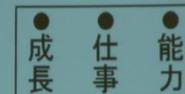
人的資源とは・・・

人の能力を他の物質 (お金やもの) と同じように資源の一つとみなしている語。

労働力 → 資源  
労働力の最有効利用

- ・従業員の潜在的 → 能力の開発
- ・経営戦略と従業員の能力開発の結び付け

## 目に見えない報酬



# インターンシップ授業における 講話についてのPBL学習法の意義

## 1) 自己発見・将来の展望・自己実現

- 「自分」の大学での学びと実社会のつながりを見つける
- 自主的に自分の課題を発見
- 仕事の意味
- 興味を持ち、自主的に将来に向けて情報収集

## 2) グローバルな視野からの知見

- 多様な文化的背景を持つ学生と共に、国際的視野からキャリア・仕事について考察
- 異なる価値感を持つ学生が多角的に講話を考察
- 自分と日本社会・世界とのつながりの発見

## 3) 能力の習得

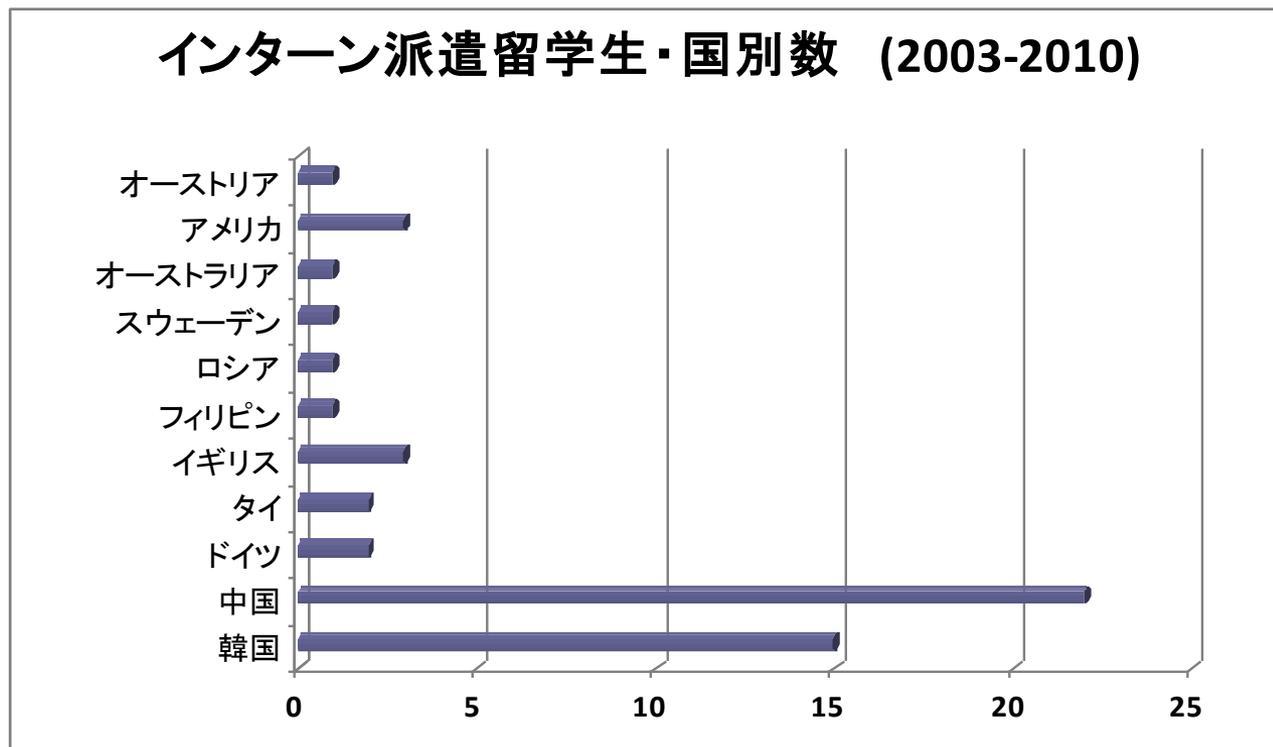
- 知識を統合して大学教育・社会・企業を捉える
- 多文化の学生と協力し時間制限内に議論しまとめる
- プレゼンテーション・議論により自己の言語能力の限界に挑戦(英語・日本語)
- 制限時間内にグループでプレゼンテーション

# Global Campus を共に作る

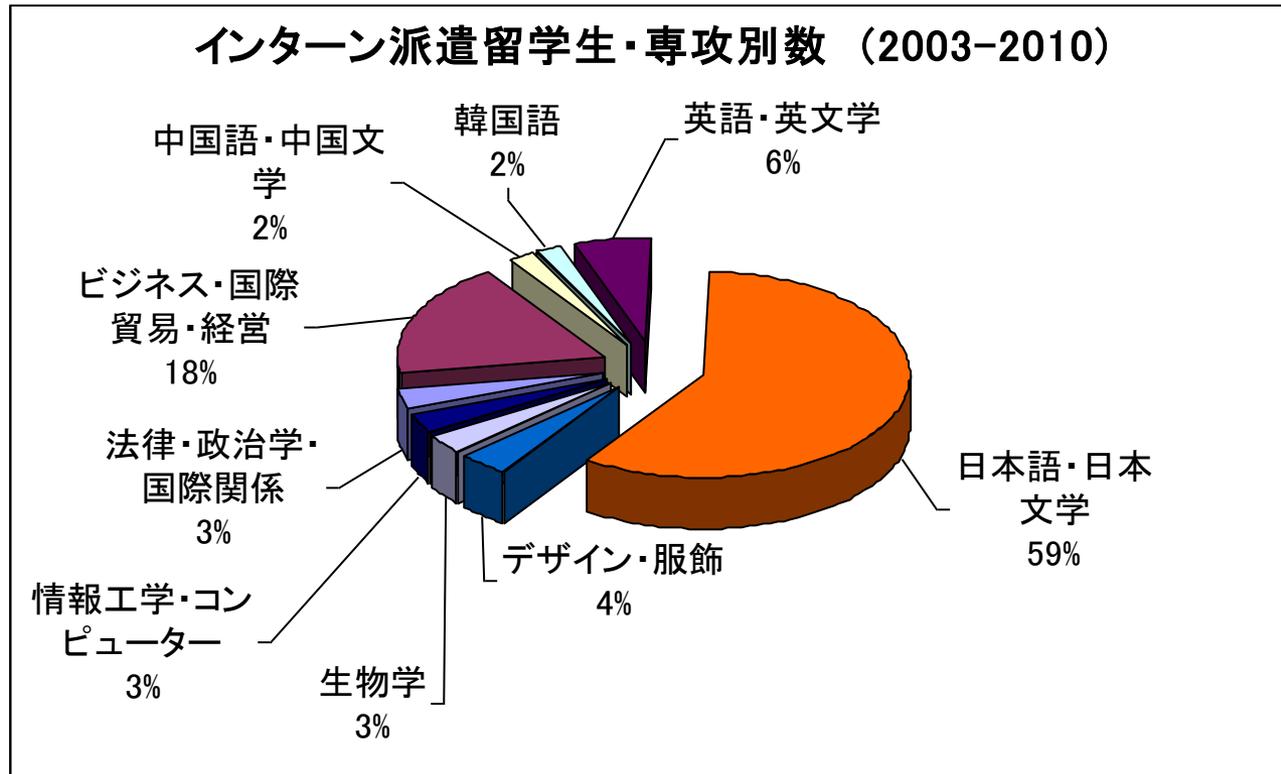
## <短期交換留学生の支援への示唆>

- 大学教育・日本社会・グローバル社会を連携
  - \* 現実的に
- 実際に「人」と交流する機会
  - \* 学生と大学外の世界との関わり
  - \* 様々な人の経験からの学び(国を超えて)
- Vision・経験の拡大: 「学生」の枠を超えて
- 学生の自主的な学びを促進

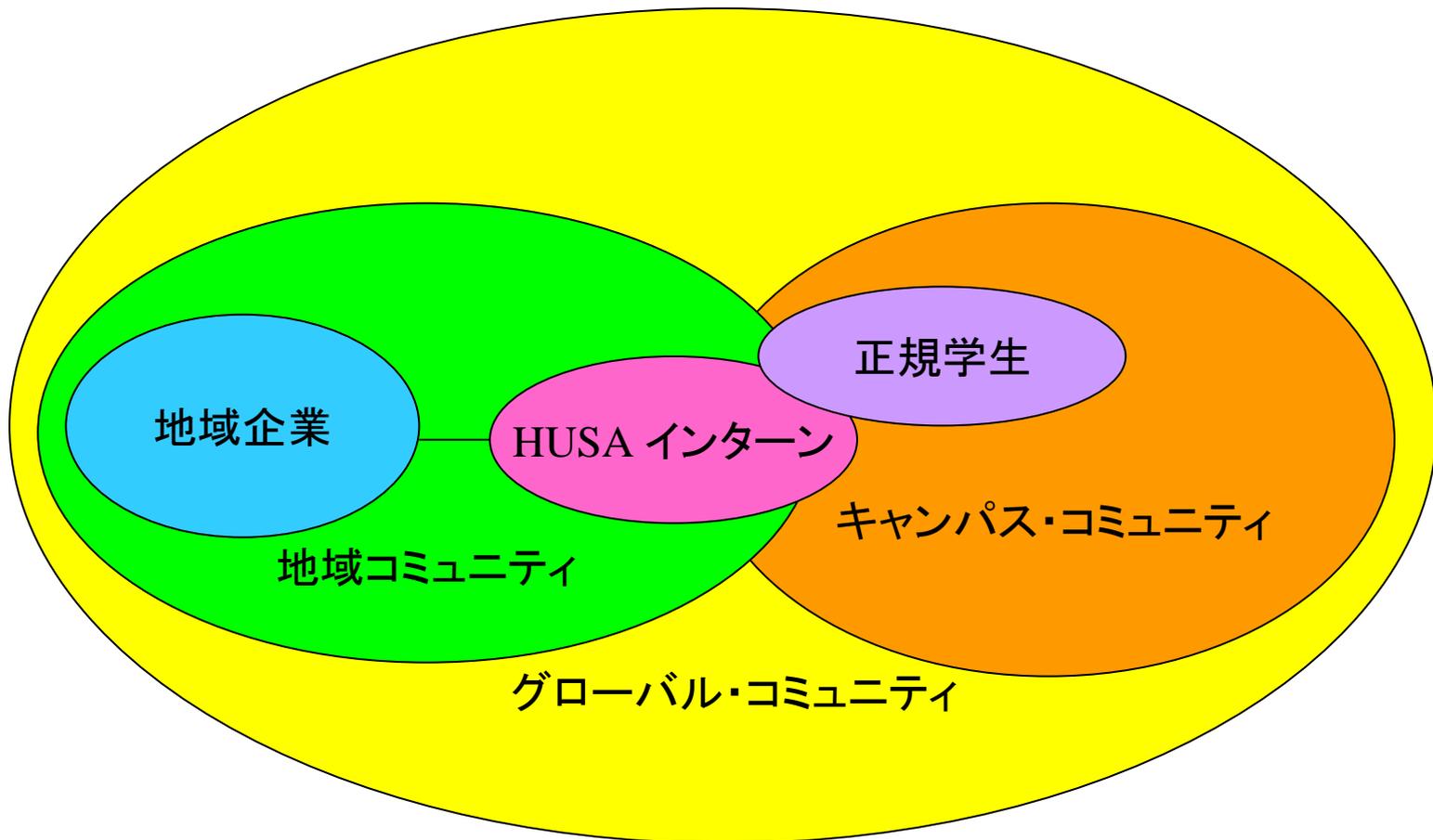
# HUSAインターンシップ派遣学生（派遣留学生数）



# インターン留学生の専攻



# HUSA インターンシップとグローバルコミュニティ



HUSA インターンシップ  
出発式 — 成果発表会 —

*To the future*

本気でつかむ！



この手でつかむ！



白井汽船株式会社  
Shirai Shipping Co.,Ltd.